

経営比較分析表（令和5年度決算）

青森県 おいらせ町

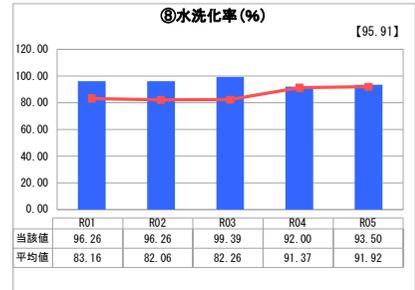
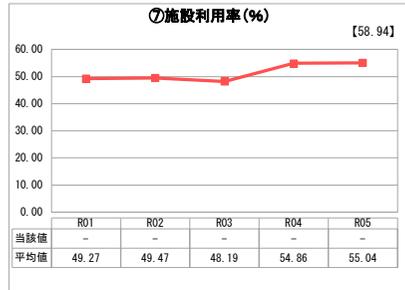
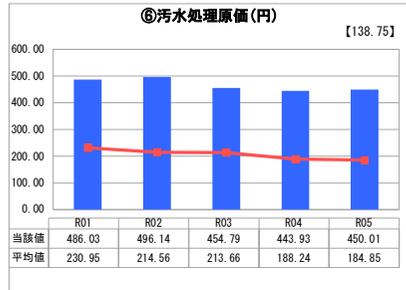
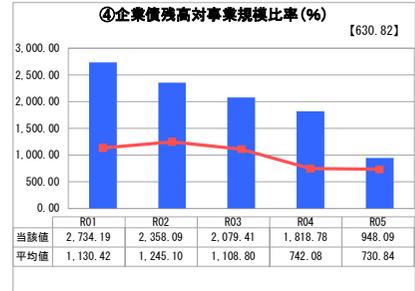
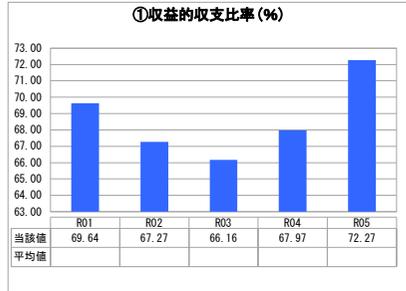
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	54.23	82.14	3,655

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
25,148	71.96	349.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
13,563	6.15	2,205.37

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率は、ほぼ横ばいで推移していたが、令和5年度に下水道使用料の増額を行ったことにより、大きく改善したものの依然として自立運営の水準には達していない。
- ・企業債残高対事業規模比率は、令和4年度までは、類似団体平均値の約2倍で推移していたが、令和5年度の下水道使用料増額により、類似団体平均値を若干上回る程度になったが依然として高い水準になっている。
- ・経費回収率は、維持管理費用は横ばいで推移していたが、令和5年度の下水道使用料増額により、改善傾向がみられるものの、全体的にみると類似団体平均値の半分以下となっている。
- ・汚水処理原価は、類似団体平均値の約2倍であり、依然として費用面の効率の悪さが顕著である。支出額の内訳では、地方債償還金と流域下水道維持管理負担金が占める割合が大きい。
- ・水洗化率は、類似団体平均値を上回っている。下水道処理区域内の水洗化はほぼ完了している。住宅新築の際に接続する場合があります。微増傾向である。

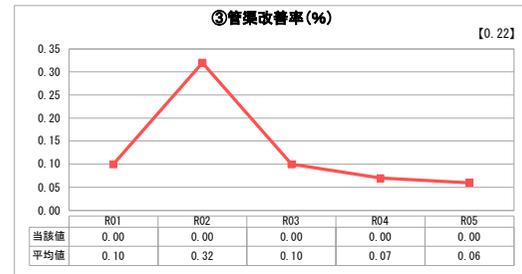
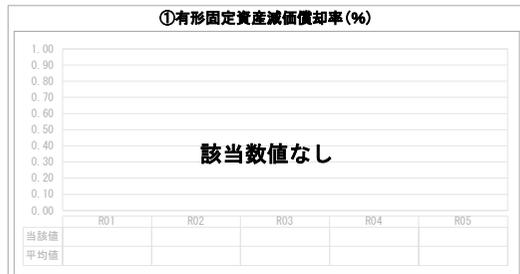
2. 老朽化の状況について

供用開始から約30年を経過した施設が一部あるとともに、他の事業体から移管された約40年を経過した施設もあり、老朽化は進んでいる。

老朽化の状況を把握するため、カメラ調査を実施しており、調査の結果、必要に応じて腐食や破損している箇所を修繕していくこととしている。

令和5年度よりストックマネジメント計画を策定し、将来に備えた老朽化対策を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

- ・令和5年度の下水道使用料の増額により、大きく改善しているものの、自立運営の水準には達していないことから、持続可能な下水道事業運営のため、経営面の改善努力が必要であり、下水道使用料の改定による収入の増加を図りつつ、併せて支出の見直しを行う必要がある。
- ・流域下水道事業において、流域全体では人口減少が始まっており、それらを加味した各施設のスペックダウン等もきめた検討を行い、各種費用を抑えることや、町においても各施設の更新時期の精査、不排水対策等の維持管理費の経費削減対策が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。